

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年06月01日

計画の名称	芦屋市における市街地の浸水及び地震対策（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	芦屋市												
計画の目標	芦屋市において、豪雨による市街地の浸水防止や地震に強い下水道の形成を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,106	A	1,106	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	長寿命化を要する管路の長寿命化実施率を23%（H27）から100%（H31）に向上させる。 管路の長寿命化実施率 長寿命化実施済延長（m） / 長寿命化計画延長（2,584m）	23%	89%	100%
2	公共下水道事業計画区域内で雨水貯留施設設置費用の助成件数0件（H27）から200件に向上させる。 雨水貯留施設設置費用助成件数 過年度助成済件数は除外（200件）	0件	120件	200件
3	芦屋下水処理場・場内ポンプ場の地震対策実施率を0%（H27）から100%（H31）に向上させる。 場内ポンプ場の地震対策実施率 耐震実施面積（㎡） / 耐震化必要面積（1,571㎡）	0%	50%	100%
4	持続可能な下水道事業の実施を図るため、「ストックマネジメント計画」を策定し、計画的かつ効率的な長寿命化対策を行う。 スtockマネジメント計画の策定率 事業計画数（計画） / 全体事業計画（計画）（1計画）	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="checkbox"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	流域水循環計画を含む	<input type="checkbox"/>	地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>	避難確保計画の策定	<input type="checkbox"/>	避難行動要支援者名簿の提供	<input type="checkbox"/>
ストックマネジメント長寿命化新世代																

A 基幹事業																					
基幹事業 (大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
											H27	H28	H29	H30	H31						
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	芦屋市	直接	芦屋市	管渠 (合流)	改築	老朽埋設管路 (長寿命化)	管路改築 L=560m (更生 L=344m 布設替 L=216m)	芦屋市	■	■	■			190	-	策定済		
		長寿命化																			
	A07-002	下水道	一般	芦屋市	直接	芦屋市	管渠 (汚水)	改築	老朽埋設管路 (長寿命化)	管路改築 L=1,424m (更生 L=1,424m)	芦屋市	■	■	■	■			114	-	策定済	
		長寿命化																			
	A07-003	下水道	一般	芦屋市	間接	芦屋市	管渠 (雨水)	-	雨水貯留施設	雨水貯留施設設置費用助成	芦屋市	■	■	■	■	■			5	-	策定済
		新世代																			
A07-004	下水道	一般	芦屋市	直接	芦屋市	終末処理場	-	芦屋下水処理場 (長寿命化)	脱臭設備等	芦屋市					■	■	240	-	策定済		
	ストックマネジメント																				
A07-005	下水道	一般	芦屋市	直接	芦屋市	終末処理場	-	芦屋下水処理場 (地震対策)	耐震診断, 設計, 施工	芦屋市		■	■				130	-	-		
	ストックマネジメント																				
A07-006	下水道	一般	芦屋市	直接	芦屋市	ポンプ場	改築	大東ポンプ場 (改築)	除塵機設備等	芦屋市					■		110	-	策定済		
	ストックマネジメント																				

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																		
下水道事業	A07-007	下水道	一般	芦屋市	直接	芦屋市	—	改築	老朽埋設管路(ストック マネジメント)	管渠改築(Φ250~1350)開 削及び更生工法	芦屋市					■	112	-	策定済	
		ストックマネジメント																		
	A07-008	下水道	一般	芦屋市	直接	芦屋市	—	—	管路施設点検・調査(ス tockマネジメント)	芦屋処理区・南芦屋浜処理区	芦屋市					■	■	125	-	策定済
		ストックマネジメント																		
A07-009	A07-009	下水道	一般	芦屋市	直接	芦屋市	管渠(—	雨水浸水対策	フラップゲート設置等	芦屋市					■	80	-	—	
											小計						1,106			
											合計						1,106			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 芦屋市公共事業評価検討委員会にて実施	事後評価の実施時期 令和5年度
	公表の方法 芦屋市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画に基づき、老朽化した下水道管の改築を計画的に行うことにより、ライフサイクルコストの低減を図りながら、老朽化した下水道管による道路陥没事故の防止を図ることができ、安全・安心な市民生活の確保に寄与した。 ・雨水貯留施設設置費用助成件数は、目標値を下回る結果となったが、市民の雨水利用及び雨水流出抑制について一定の意識啓発には寄与できた。 ・ストックマネジメント計画の策定により、下水道施設の将来的な改築需要を見通し、計画的かつ効率的に管理することで、ライフサイクルコストの低減及び事業費の平準化につながった。 ・芦屋下水処理場場内ポンプ場の耐震化を進めるため、施設の耐震診断及び耐震補強実施設計を行った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した下水道管の改築を計画的に行うことにより、ライフサイクルコストの低減を図りながら、老朽化した下水道管による道路陥没事故の防止を図ることができ、安全・安心な市民生活の確保に寄与した。 ・雨水放流渠にフラップゲートを設置することにより、高潮等による逆流対策を図ることができた。 ・ストックマネジメント計画に基づき、処理場及びポンプ場設備の更新工事を行うことで、ライフサイクルコストの低減及び事業費の平準化につながった。

○特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> ・ストックマネジメント計画の運用により、ライフサイクルコストの低減を図りながら、老朽化した下水道施設の改築を計画的に行うことにより、下水道施設の機能を適切に保全し、安全・安心な市民生活の確保に努める。 ・雨水貯留施設について、これまでのPR及び周知方法に加え下水道フェスタ等によるPRを行い、助成件数の向上に努める。 ・芦屋下水処理場場内ポンプ場において人命の確保及び、最低限の機能確保を目的とした耐震補強を進める。 ・ストックマネジメント計画に基づき、処理場やポンプ場の設備更新を行っていく。
--

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	管路の長寿命化実施率（％）	
	最終目標値	100％
	最終実績値	100％
2	雨水貯留施設設置費用助成件数	
	最終目標値	200件
	最終実績値	30件
市民への周知を行い、雨水貯留施設設置を推進していたが、PR及び周知において、市民の理解が得られる工夫等が足りなかったため。		
3	場内ポンプ場の地震対策実施率（％）	
	最終目標値	100％
	最終実績値	0％
耐震診断（詳細診断）及び耐震補強実施設計に時間を要したため。		
4	ストックマネジメント計画の策定率（％）	
	最終目標値	100％
	最終実績値	100％

(参考様式3) (参考図面) 水の安全・安心基盤整備

